

事業所名 ハピネス国際ほみ放課後等児童デイサービス

支援プログラム

作成日

6年

12月

16日

法人（事業所）理念	一人ひとりのお気持ちにそっと寄り添い、安心してその人らしく過ごしていけることをを目指しています。			
支援方針	・一人ひとりの個性に合わせた支援の提供。・安心して過ごせる生活の提供と、五感を通じてさまざまな体験の提供。 ・ご家族との連携を図り共に児の成長を見守ります。※以上をもとに個別支援計画を作成し、以下の支援プログラムを組み合わせた活動を行っていきます。			
営業時間	月曜日から金曜日：9時00分～18時00分 学校休業日：9時00分～18時00分	送迎実施の有無	○あり なし	
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	・手洗い、食事等健康状態の維持や改善、片付け、挨拶等生活習慣や生活リズムの形成、基本的生活スキルの獲得の支援。基本的な生活習慣を身に付けられるようにスマールステップで支援を行う。食事は当事業所で手作りし栄養バランスに考慮した、食事を提供。口腔内機能・感覚等に配慮しながら可能な限り個別に対応。睡眠時間に関して保護者の意見も取り入れ午睡時間を設け過ごす（にじいろタイム）。遊びの途中で水分補給と身体を休める休憩タイムを適宜行う。		
	運動・感覚	・運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、体感・感触に触れ、児童の五感を刺激できる様に、児童の能力に応じた感覚の成長を支援。滑り台・トランポリン・マットレス・ダンス等、複数の運動遊びを通して、ゲーム感覚で児童が楽しめるよう体の動かし方を学び、運動能力の向上に繋げる。“操作性” “手指機能(手先トレーニング)” 等の成長を支援。水・砂・泥んこ・粘土・絵の具・ボディペイント等の感触遊びを通して、さまざまな素材の感触やにおい、音などを感じ五感を育む。想像力や思考力を養う。		
	認知・行動	・認知の特性についての理解と対応、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得、行動障害への予防及び対応を支援。大小、数、重さ、空間、時間、文字等の概念の形成を児童に理解しやすい様に、イラスト・ピクトグラムを使用し、認知や行動に活用できるよう支援を行う（スケジュール説明時に日付・人數を確認等）。記憶、弁別力、構成力を養う為、知育玩具を活用し支援を行う。“着席” “よく見る” “少し苦手なことも頑張ってみる” 等、課題に向く姿勢や集中力を養う。状況の変化への対応（適応の難しさ等への支援）。		
	言語 コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎的能力の向上の為、読書・はっきりとした発音・語彙力向上・読み書きを実施。言語の受容と表出を促す為、状況に応じたコミュニケーションの支援。“要求” “報告” “聞く” “模倣” “観察する” 等、自己意識の目覚め。又、自分も周囲の人も大切にするコミュニケーション方法を促す。言葉だけでなく指差しや身振り、ジェスチャーやサイン、絵カード等のコミュニケーション手段を選択・活用し、こどもに合わせた視覚的な支援を行う。当事業所の特色として、ポルトガル語・英語・日本語も隨時学ぶ。		
	人間関係 社会性	・スキニシップ遊び等を通して、二次障がいを防ぐ為、子どもと保育者の信頼関係築き、情緒が安定することで心身ともに安心して過ごせるよう支援していく。児童の特性に応じた、感覚運動遊びから象徴遊び・ごっこ遊び・協同遊び・集団遊び、ステップをふみながら、社会性の発達支援を行います。また、地域や社会の活動に参加できるよう支援します。		
家族支援		・事業所での支援・ご家族の悩み・児童の発達状況を共有することで、よりよい支援に繋げていけるよう心掛けています。ご家族参加型の行事や研修を行っております。子育てに関する困りごとに対する相談援助。こどもの成長の共感・確認等も隨時行っています。		
地域支援・地域連携		・こどもに関わる地域の関係者／関係機関との連携 (保健・医療・福祉・教育) ・相談支援事業所との生活支援や発達支援における連携	職員の質の向上	事業所内での定期研修（支援・障害特性理解）及び法令基準遵守等に係る外部研修の受講を月1回以上を目処とした受講
主な行事等		調理活動、遠足、節分、ひな祭り、クリスマス会、夏の水遊び、お茶会、誕生日会等		